

2025年12月7日 待降節第2主日 道を備える

マタイによる福音書 3:1～12 北川逸英師

誰かを家に迎えるとき、私たちはまず「道順」を気にします。どの駅で降りればよいか、どう歩いて来ればよいか、玄関までの通り道を片づけ、心の準備もします。マタイによる福音書三章で洗礼者ヨハネは、「主の道を備えよ」と荒れ野で叫びました。

イエスさまが来られるためには、やはり「道」が必要なのです。アドベント第二週、私たちは自分の心の中に、そして互いの関係の中に、主の通られる道を整えるよう招かれています。

今日の第一日課イザヤ十一章は、「エッサイの株からひとつの芽が萌えいで」と語ります。だがエッサイは植物ではなく人の名前です。ダビデ王の父であり、その家系はマタイ一章の系図の中で、イエスさまへとつながっています。

切り株は、上を全部切り倒されて、終わったように見えます。しかし、地中の見えない根は生きており、急に新しい芽が出てくることがあります。イスラエルの歴史も、私たちの人生も、ときに「もう終わりだ」「希望はない」と見える場面を通ります。それでも神さまは、見えないところで命の根を保ち、新しい芽を起こされる方です。

私たち一人ひとりのいのちも、はるか昔から続いてきた無数のいのちの流れの先にあります。祖父母やそのまた先の世代の、祈りや涙、喜びと悲しみが、幾重にも折り重なって、いまここに私たちの命があります。私たち自身が、奇跡のような「いのちの旅」の結び目なのです。

なぜ新約聖書の最初に、あのような長い人名の羅列、マタイ一章の系図が置かれているのでしょうか。私たちはつい退屈だから飛ばし読みをしてしまいます。しかし、あのリストは決して無機質な「名簿」ではありません。一つひとつの名前の背後に、家族の喜びと争い、罪と赦し、戦争と飢え、日々の働きと祈りがありました。

そしてその真ん中あたりに、「エッサイがダビデをもうけた」とはっきり記されています。神さまは、エッサイという一人の父親の名をも忘れません。長い歴史の中で、人々が何度も神さまから離れ、道を見失っても、神さまの約束は途切れませんでした。エッサイを通り、ダビデを通り、多くの名もなき人々を通って、ついにイエスさまにまで続く救いの道が備えられたのです。マタイの系図は、「あなたのいのちは、偶然ではない。神は時を超えて道を備えてこられた」という力強い宣言でもあります。

第二日課ローマ十五章は、「エッサイの根が起こされ、異邦人を治める」と語ります。ユダヤ人だけでなく、私たち異邦人たちにも、希望が開かれているとパウロは告げます。イスラエルの小さな家族の物語は、やがて世界中の民の希望の物語へと広がりました。エッサイの株から出たひとつの芽、イエスさまは、十字架と復活を通して、すべての人のための道となってくださいました。

イザヤ書十一章は、その方が来られるとき、狼と小羊が共に住み、争っていた者どうしが共に憩う世界が示されます。イエス・キリストの歩まれる道は、分裂と憎しみを深める道ではなく、敵と味

方を和解させ、世界の平和へとつながる一本の道です。私たちの旅は、どこへ向かっているのかわからない放浪ではありません。エッサイの根に始まり、イエスさまにおいてはっきりと示された「御国への道」を、世界の平和を願いつつ共に歩むよう招かれているのです。

では、私たちの日常の中で「主の道を備える」とは、具体的に何を意味するのでしょうか。洗礼者ヨハネは「悔い改めよ」と呼びかけました。悔い改めとは、ただ自分を責めて落ち込むことではなく、旅の方向を変えることです。いのちを軽んじる歩き方——自分さえよければよいという心、弱い人を見て見ぬ振りをする態度、言葉で互いを傷つける生き方——から、いのちを尊び合う歩き方へと向きを変えることです。自分のいのちも、隣人のいのちも、キリストにつながる大切な一本の線だと受けとめるとき、私たちの心の中の荒れ野に、主の通られる道が少しずつ開けていきます。許せなかつた相手のために小さく祈ること、孤立している人に一言声をかけること、弱っているいのちの側に立つ選択をすること。それらはすべて、イエスさまの歩まれる平和の道を、この世界の片すみに具体的な形で延ばしていく「道づくり」です。

アドベント第二週の今、私たちは自分の人生を「いのちの主が備えてくださった長い旅路」として受けとめ直したいと思います。私たちの来た道には、すでに主の恵みの足あとがあります。そして、これから向かう道の先には、主イエスさまの御国が待っています。見えないところで根を守り、新しい芽を起こしてくださる神さまに信頼して、心の荒れ地を差し出し、「どうか私の中に、あなたの通り道を造ってください。世界の平和につながるあなたの道を、私にも歩ませてください」と祈りつつ、この一週間を歩ませていただきましょう。

・祈り いのちの主なる神さま。エッサイの根から始まり、主イエスさまに至るまで、あなたが備えてくださった長いいのちの旅路を感謝します。私たちの心の荒れ野を照らし、悔い改めへと導き、イエスさまをお迎えする道を整えさせてください。主イエス・キリストの歩まれる道が、私たちの小さな歩みを通して世界の平和へとつながっていきますように。私たちと、すべての人のいのちを、あなたの平和の御国へと導いてください。アーメン。